

FOT

BEST AVAILABLE COPY

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査

☐ PCT規則12.4にいう国際公開

☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第_____ページ、出願時に提出されたもの

第_____ページ*、_____付けて国際予備審査機関が受理したもの

第_____ページ*、_____付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第_____項、出願時に提出されたもの

第_____項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第_____項*、_____付けて国際予備審査機関が受理したもの

第_____項*、_____付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第_____ページ/図、出願時に提出されたもの

第_____ページ/図*、_____付けて国際予備審査機関が受理したもの

第_____ページ/図*、_____付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第_____ページ

☐ 請求の範囲 第_____項

☐ 図面 第_____ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第_____ページ

☐ 請求の範囲 第_____項

☐ 図面 第_____ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること) _____

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-3	無
進歩性(IS)	請求の範囲	有
	請求の範囲 1-3	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-3	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: JP 2003-238671 A(松浦薬業株式会社)2003.05.08

文献2: New Food Industry, 2003, 05, 01, Vol. 45, No. 5, pp. 41-48

請求の範囲1に記載された α -グルコシダーゼ活性阻害剤の用途は、糖類の吸収を阻害し糖尿病や肥満を予防もしくは治療することである。そして、蓮の葉をそれらの用途に用いることは、上記刊行物1、2に記載されている。つまり、請求の範囲1記載の発明は、上記刊行物1、2に記載された医薬を新たに発見した作用機序で表現したに過ぎない。したがって、請求の範囲1の発明と上記刊行物1、2に記載された発明は、医薬用途としてみた場合実質的に同一である。また、請求の範囲2、3記載の発明は、上記刊行物1、2記載の発明と同一である。よって、請求の範囲1～3の発明は、新規性及び進歩性を有しない。